

ふるさと賛歌 10

鈴木重雄（八色木）

八葉山一乗院にま

つわる話（つづき）

である。
世話人 八色木村忠次郎

一乗院石碑建立寄付帳
（嘉永2（1849）年）

八色木は勿論、近郷
在住から多額の金品が
寄付されている。

「差出し申し一札」
のこと

要約すると、

聖の教えを論し、且、
つまた私漢の文章を転
読し、地域の人達に文
を広め、遠くに住む人
に用談を居ながらにし
て達することの出来る
のも、現在の事柄を調
べられるのも、権大僧
都穩住靈の高思による
ものである。

我々は長年の厚意に
謝し奉り、亡き師一周
忌のときに超恩の寸志
として、石碑造立の志
願をしたけれども、微
力にして願ひ満ちざる
は嘆かわしく、徒に年
月を過ぎるのみである。
当年2月は3回忌に
なるので、諸賢兄の志
を同じくし、多少にか
かわらず、石碑造宮の
御冥助を乞い願うもの

後日のため親類相違
なく判を押して一札後
日のために印する
天保15年辰7月
保証加判野左衛門
肝煎 治左衛門殿
同 惣二郎 殿
長日姓 衆中

市内に教育格差

戦後日本の教育制度
である6・3・3・4
制の単線型から、一部
の地域が義務教育の複
線型になれば、市内に
「教育格差」をつくり、
その影響は深刻です。
小学校を卒業して中
学校へ進学することで、

走っています。

長野県信濃町



中ギャップ」や「段差
の解消」が強調されま
した。
市教育委員会の最大
のねらいは、学校の改
築費用の節減と、学校
維持管理費の大幅削減
にありましたが、その
議論はありませんでし
た。

子どもの意見表明

藤島地域の住民は、
この地域から小学校も
中学校も無くなつて、
たった一つの義務教育
学校で良いと望んでい
るのでしょいか。

小学生の児童と、青
年期前期の中学生が、
一つの学校で生活を送
りたいと願っているの
でしようか。

「私たちのことを、
私たち抜きに決めない
で欲しい」という、子
どもの権利で最も大切
な意見表明権を抜きに
して、教育委員会は「小
中一貫教育」ありきで

「義務教育学校」基本の報告書 止めさせる運動はこれから

藤島地域教育振興会議の第7回会議が
10月17日、藤島庁舎で開かれ、最終報告
書として、「小学校・中学校施設一体型の
小中一貫校（義務教育学校）の整備を基
本」とするなどを決めました。

しかし、市教育委員会主導で、子ども
たちの意見も聞かずに決めたもので、止
めさせる運動はこれからです。

是非は論ぜず

もともと会議は、「鶴
岡型小中一貫教育」の
方針は決定済で、是非
は論ぜず、①義務教育
学校、②併設型小学校
・中学校、③既存の学
校施設の3つのうち、
どれを選ぶかとされま
した。

「併設型」や「既存」
では、「二貫教育の効果
が得にくい」と説明し、
義務教育学校に意見集
約がされるようになって
いました。

最大のねらいは

小中一貫教育導入の
説明で使われた「中1
ギャップ」について、
文科省国立教育政策研
究所が「問題の本質や
所在を見誤り、間違っ
た対応をしかねませ
ん。」と警鐘を鳴らして
いました。

しかし会議では、「小

「不退転の決意」で、少子化対策の成果示せ

加藤鮎子こども政策担当相が、27日に始まった衆院予算委員会で閣僚として初めて答弁。

「子どもや子育て当事者の視点で政策を進めると応じ、堅実にこなした」と報道され、また(28日付山形新聞)。

しかし一方で、「週刊新潮」10月12日号には、「加藤事務所の秘書が大量退職」、「秘書にスピード違反を強要」等の記事で、「大臣としての資質が疑われる素顔」と書かれ、前途多難です。(下・画像)

令和5年6月13日に閣議決定した「こども未来戦略方針」は、「I. こども・子育て政策の基本的考え方」では、

「2030年までがラストチャンスであり、我が国の持てる力を総動員し、少子化対策と経済成長実現に不退転の決意で取り組まなければならない。」

「今回の少子化対策で特に重視しているのは、若者・子育て世代の所得を伸ばさない限り、少子化を反転させ

ることはできないことを明確に打ち出した点にある。」

「次元の異なる少子化対策を推進する。これにより、若い世代が希望どおり結婚し、希望する誰もがこどもを持ち、安心して子育てができる社会、こどもたちがいかなる環境、家庭状況にあつても、分け隔てなく大切にされ、育まれ、笑顔で暮らせる社会の実現を図る。」と決定しました。

4月1日新設された「こども家庭庁」には、職員が定員430人に加え、5年度43人増員

東田川史跡物語

『駐鑾之碑』④

青山 崇

二十五日には臨み、庄内藩士族が開墾した後田邨墾闢地(こんびやくち・開墾)を視て、金五十圓を賜い耕織事(耕作と絹織物)を奨励する。

豊榮村日向三右衛門が捐貲(えんし・貲は資と同、資金を寄付)し、その資金で郡役所を修繕した。

特に金五十圓と物を賜わった。

その他駐釐所になった狩川邨(村)則見龍寺、横山邨則菅原美繼、押切邨則加藤安與、新堀邨則加藤勘右衛門、余目邨則佐藤善治、廻館邨則相馬繁之、以上の家は殖産興業に及び(励み)、土宜方物を供覧した。

賜われた金や物に差



の男子が、加藤勘右衛門家の始祖となったという。

5 押切邨則加藤安與(やすおき) 自費で別棟を新築、御休所や玉座をつくる。また川代山に放牧場造成。現月山高原牧場の始りか。

6 見龍寺 小休所。行幸碑がある。北館大堰を開削した狩川城主墓所。

7 「則」は即ちと同じ「すなわ」ち。ここでは、とりもなおさず(〇〇村といえば、〇〇さん)という意味 邨は



悔しい政治

先日・ある九条の会でDVDを見せてもらった。九条の会は、ノー

ーベル賞を貰った大江健三郎氏や県出身の作家・井上ひさし氏など9人の呼びかけで作られた会で、憲法第九条を守れ、戦争に向かう事には反対する・という会。鶴岡市は、藤島

の他20程の数。日本全国にはゴマンと組織され、戦争反対の取り組みが行われているんだ。

▲そのDVDは、岸田政権が進めている戦争の準備とそれに反対する地元の戦いのドキュメントであった。いや、全く驚きの戦争準備と、日々の激しい戦いの記録だ。現地での状況をマスコミは何故知らせないんだろうか。

▲沖縄では、知事選挙を始め、何回もの選挙で県民の意思は十分示されている。これに對

村。

8 押切邨則加藤安與(やすおき) 自費で別棟を新築、御休所や玉座をつくる。川代山に放牧場造成。現月山高原牧場のはしりか。

9 土宜方物(とき...その土地にあった作物。方物(ほうぶつ...その地に産するもの。同じような意味だが碑文全体のバランスからとも思われる。

10 千歳榮典(せんざい、えいてん) 長年に及ぶ名誉ある事。

し岸田政権は、中国や北朝鮮の動きに危機感を煽り、米国の兵器を買い、貯蔵と発射の基地を急いでいるんだ。

▲近年、馬毛島(まげしま)という名前がテレビなどで見たでしよう。ここに米軍の空母艦載機の訓練場を作ったんだ。宮古島には地対艦ミサイルの中隊を置いたし、南西諸島と言われる小島の基地化が急速に進め

られている。全て中国の太平洋進出を止めたアメリカの作戦の為にだ。平和の為なんて嘘や。何かがあれば最初に狙われる一番危険な所になるんだ。

▲地元民は、戦争の準備では平和は守れないと座り込み。これを警察官が、1人を3人で運び出す。その後自衛隊の車が入るんだ。これ全部が日本人だよ。悔しいネ。そして、地元民以外は人も物も全部税金よ。困った日本の政治だ。(石川)



(松が岡開墾場蚕室)